

まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
問い合わせ 市広報秘書課 ☎ 43・8113



津屋崎千軒を山笠が駆け抜ける

津屋崎祇園山笠



津屋崎千軒古民家の横を駆け抜ける新町流れ

波折神社にお宮入りする岡流れ

▲旧吉田醤油屋を背に走る北流れ

津屋崎祇園山笠の裸参りが7月21日、追い山が7月22日に行われました。

追い山の安全祈願を行う裸参りでは、夕刻の街を締め込み姿の男たちが、波折神社と金刀比羅神社、宮地嶽神社を参拝しました。また旧津屋崎町から続く夏祭り「サマーナイトインふくつ」も行われ、多くの人でにぎわいました。

山笠を締めくくる追い山では、北流れ、新町流れ、岡流れの3つの山笠が早朝の津屋崎千軒を駆け抜きました。「オイサツ」の突き手の声とともに見物客が見守る路地を山笠が勇壮に巡りました。

津屋崎祇園山笠は1714年に福岡市の櫛田神社から波折神社に祇園の神様を迎えたことが始まりとされています。一度途絶えた山笠が復活して今年で44年になりました。津屋崎祇園山笠保存会の西野正信会長は「山笠を通じて地域のつながりが深まっている。この歴史を今後もつないでいきたい」と話してくれました。

宮城の子どもたちと友達になろう

第6回暮らしと遊びの夏休み



▲最終日の夜はみんなでキャンプファイヤー

全労済が平成25年に始めた50周年記念事業「暮らしと遊びの夏休み」は福津と宮城の子どもたちの交流事業です。今年8月2日から5日間、宮城県柴田町の小学6年生12人を迎えました。ホームステイや玄海少年自然の家での合宿を通じて、津屋崎小学校の児童と交流を深めました。柴田小学校6年の伊藤柚花さんは「最初は緊張したけど仲良くなれた。初めて海水浴をして良い思い出になった」と元気に話してくれました。

福津に親善大使が誕生

ミサンガが初代大使に就任



▲納涼花火大会前に行われたライブ

福岡を拠点に活動する3人組の音楽バンド「ミサンガ」が8月5日、市親善大使に就任しました。ミサンガのメンバー2人は県立光陵高校の出身です。「福津は青春を過ごした街。とてもうれしい」と話していました。市が親善大使を任命したのはミサンガが初めてで、今後はPR活動などに協力してもらおうことになっています。

27の「旅」で福津の魅力を紹介

「福津暮らしの旅」の新シーズンが9月からスタート



▲福津の特産クリームスイカで鏡開き

日常の中にある福津の魅力を体験できる「福津暮らしの旅」。9月からの旅の発表記念イベントが8月4日に行われました。企画者や過去に何度も参加した人が集まり、今回の旅の紹介などがありました。これまでの旅を通じて知り合ったという市外在住の女性3人は「どの旅も福津の良さを感じられた。今回も楽しみ」と笑顔で話してくれました。

半年間の練習の成果を披露

県消防操法大会



▲第7分団の元木さん(左)と太田さん(右)

県消防操法大会が7月22日、嘉麻市の県消防学校で行われ、ポンプ車の部に第10分団(上西郷、内殿、舎利蔵)、小型ポンプの部に第7分団(花見原町、有弥の里)が出場しました。惜しくも入賞は逃しましたが、どちらも半年間にも及ぶ練習の成果を精一杯発揮しました。第10分団で指揮者を務めた北嶋晃一さんは「先輩方の伝統を守り、10分団らしさを発揮できた。支えてくれた皆さんに感謝しています」と語ってくれました。